

# NFD 西白杆消防だより

第2号



令和元年7月

命のために  
そこにある  
前へ！



2019年度 全国統一防火標語  
「ひとつずつ いいね！で確認 火の用心」



# 西臼杵消防だより

## 発行ごあいさつ



消防長  
日高一昭

平成三十一年四月一日付けて、西臼杵広域行政事務組合消防本部消防長を拝命し、就任いたしました日高でござります。

管内の皆さまには、平素から消防行政に対し、理解と協力を賜り、心から感謝申し上げます。

当消防本部は平成二十七年四月一日に全国で一番新しい消防本部として発足しました。一本部一署体制で消防車両一台(内二台救急車)を運用し、全国的にも珍しい軽救急車も配備しております。職員は、本部六名(消防長含む)、消防署三十二名体制で三町の消防業務を担っており、今年度、五年目を迎えたところです。

日々訓練を積み重ね、職員一丸となって、郡民の皆さまの安心・安全のため、消防行政を推進していく所存です。また、現在、郡民の皆さまに向けて消防の各種情報等を発信できるよう、消防本部のホームページ開設に向けて準備を進めているところです。これからも広域消防の業務遂行に理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、災害発生状況につきましては、火災、救助件数はこの四年間大きな増減はありませんが、平成三十年中の救急出動件数は前年比六十九件増の八百七件を数え、年々増加しています。救命士を中心とした救急隊が、より高度な救急業務を目指すとともに、富崎大学医学部附属病院が運航するドクターヘリも積極的に活用し、医療の早期介入に努めています。

今年、「平成」からの「令和」へと元号が改められましたが、平成は地震等の自然災害のほか、大規模な災害・事故が数多く発生した時代がありました。宮崎県においても南海トラフ地震の発生が危惧される中、新たな対応が求められています。当消防本部は大規模災害発生時における緊急消防援助隊等の陸上部隊進出拠点として位置づけられていますことを踏まえ、災害がいつ発生しても対処できるよう、先頃「救援(援助部隊の受入)訓練」を実施し、初動体制等の確認を行ったところです。

さて、消防の仕事は大きく一つに分かれているのをご存知ですか。一つは火災や救助、救急などに消防車や救急車で出動し活動する、いわゆる現場の仕事で、消防署が担当します。またに、皆さんが持つ消防のイメージですぐね。もう一つは、消防全般に関する事務を行う仕事です。事務を担当するのが消防本部で、基本的にデスクワークで現場には出ません。私は4月に署から本部に異動したのですが、現場に出たくてうずうずしています。しかし、事務も大切な仕事。消防署と消防本部が力を合わせて西臼杵のために頑張ります。(つー)

- ※1 合計欄の( )内の数字は前年比の件数です。  
※2 警戒には、ドクターヘリ・防災ヘリ要請時の支援出動、火災かどうかの確認のための出動等が含まれます。

## 平成30年 災害等出動件数



災害区分	高千穂町	日之影町	五ヶ瀬町	合 計
火 災	13	2	2	17 (+1)
救 助	8	9	2	19 (±0)
警 戒	58	14	5	77(+21)
救 急	584	132	91	807(+69)

## 指令室

西臼杵消防が運用を開始して5年目に入り、常備消防としてこの西臼杵の地に少しずつ根付いてきたかなと感じています。しかしながら、「消防って普段は何をしていると?」といった疑問もあるかと思います。消防の役割や西臼杵消防の活動を、この『西臼杵消防だより』を通して少しずつですかとお伝えしていきたいです。